

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE 札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	丸市食品株式会社 本社・工場	階数	地上4F
建設地	札幌市厚別区厚別東3条2丁目3-72	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	90 人
気候区分	2地域	年間使用時間	2,880 時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年4月8日
敷地面積	1,215 m ²	作成者	創建社 河野
建築面積	641 m ²	確認日	2017年4月10日
延床面積	2,447 m ²	確認者	創建社 中村



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.4**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.2**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
総合	A 省エネルギー 省エネ法に基づく基準に適合した計画とする
B 省資源等	事業系廃棄物保管庫場所を確保して省資源に心掛ける
C 緑化	札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づく緑化を行う
D 雪処理	場内駐輪場部分を排雪スペースとし、雪を溶かす計画とする

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
丸市食品株式会社 本社・工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境												
1 音環境												
1.1 騒音												
1.2 遮音												
1 開口部遮音性能												
2 界壁遮音性能												
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)												
4 界床遮音性能(重量衝撃源)												
1.3 吸音												
2 温熱環境												
2.1 室温制御												
1 室温												
2 外皮性能												
3 ゾーン別制御性												
2.2 湿度制御												
2.3 空調方式												
3 光・視環境												
3.1 昼光利用												
1 昼光率												
2 方位別開口												
3 昼光利用設備												
3.2 グレア対策												
1 昼光制御												
2 障り防止対策												
3.3 照度												
3.4 照明制御												
4 空気環境												
4.1 発生源対策												
1 化学汚染物質												
2 化学汚染物質												
4.2 換気												
1 換気量												
2 自然換気性能												
3 取り入れ外気への配慮												
4.3 運用管理												
1 CO ₂ の監視												
2 喫煙の制御												
Q2 サービス性能												
1 機能性												
1.1 機能性・使いやすさ												
1 広さ・収納性												
2 高度情報通信設備対応												
3 バリアフリー計画												
1.2 心理性・快適性												
1 広さ感・景観												
2 リフレッシュスペース												
3 内装計画												
1.3 維持管理												
1 維持管理に配慮した設計												
2 維持管理用機能の確保												
3 衛生管理業務												
2 耐用性・信頼性												
2.1 耐震・免震												
1 耐震性												
2 免震・制振性能												
2.2 部品・部材の耐用年数												
1 躯体材料の耐用年数												
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔												
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔												
4 空調換気ダクトの更新必要間隔												
5 空調・給排水配管の更新必要間隔												
6 主要設備機器の更新必要間隔												
2.4 信頼性												
1 空調・換気設備												
2 給排水・衛生設備												
3 電気設備												
4 機械・配管支持方法												
5 通信・情報設備												
3 対応性・更新性												
3.1 空間のゆとり												
1 階高のゆとり												
2 空間の形状・自由さ												
3.2 荷重のゆとり												
3.3 設備の更新性												
1 空調配管の更新性												
2 給排水管の更新性												
3 電気配線の更新性												
4 通信配線の更新性												
5 設備機器の更新性												
6 バックアップスペースの確保												

CASBEE Sapporo2014v1.2

丸市食品株式会社 本社・工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出						2.0	0.30	-	-	2.1	
2 まちなみ・景観への配慮						2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制						3.0	0.04	-	-	3.6	
2 自然エネルギー利用						3.0	0.12	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化						4.0	0.60	-	-	4.0	
BEI 非住宅 0.68 住宅(専有部) -						4.0	1.00	-	-		
集合住宅以外の評価(3a.3b)						4.0	-	-	-		
集合住宅の評価(3c)						4.0	-	-	-		
4 効率的運用						3.0	0.24	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制						3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価						-	-	-	-		
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制						-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護											
1.1 節水						3.0	0.20	-	-	3.0	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.60	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-		
3 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減						3.1	0.60	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						4.0	0.20	-	-		
乾式材料の採用を行い資源分別など考慮する						4.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.9	0.20	-	-	2.9	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						5.0	0.30	-	-		
建築資材など有害物質を含まないものを選択する						5.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-		
1 消火剤						-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)						2.0	0.50	-	-		
3 冷媒						2.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮						3.8	0.33	-	-	2.9	
冷暖房を電気式ヒートポンプ方式とする						3.8	0.33	-	-	3.8	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善						2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-		
1 騒音						3.0	0.33	-	-		
2 振動						3.0	0.33	-	-		
3 悪臭						3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						2.3	0.40	-	-		
1 風害の抑制						2.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-		
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制						2.3	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策						2.0	0.70	-	-		
2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-		

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE 札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.8	BEEランク	B ⁻
建物名称	丸市食品株式会社 本社・工場	総合評価 ★★☆☆☆			
建物用途	事務所・工場				
延床面積	2,446.92 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆	<p>省エネルギー性能: 5.0, 4.0, 3.0, 2.0, 1.0, 0.0</p> <p>省資源等への取組: 2.0</p> <p>緑化への取組: 4.0</p> <p>雪処理: 1.0</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	15点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 0.0		
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 3.0		
B 省資源等				合計	15点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
C 緑化				合計	7点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計	0点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
省エネ法に基づく基準に適合した計画とする		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
事業系廃棄物保管庫場所を確保して省資源に心掛ける	札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づく緑化を行う	場内駐輪場部分を排雪スペースとし、雪を溶かす計画とする

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される